

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：
担当課長名：

事業名 かわさきまちだ おおくま にっば 川崎町田線（大熊・新羽地区）	事業区分 街路	事業主体 横浜市
起終点 よこはま こうほく にっば 自：横浜市港北区新羽町 至：横浜市港北区大熊町		延長 0.73km
事業概要 本路線は横浜市北部地域において川崎市境から町田市境に至る東西を連絡する道路で、宮内新横浜線・第三京浜道路・新横浜元石川線と接続して、北部地域のネットワーク強化を図るものです。		
H8年度事業化	S21年度都市計画決定 (S61年度変更)	H8年度用地着手
全体事業費 45億円		事業進捗率 24%
計画交通量 21,700台/日		供用済延長 0km
費用対効果分析結果	総費用 (残事業)/ (事業全体) 31/45億円 事業費：30/45億円 維持管理費：0.5/0.5億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) /180億円 走行時間短縮便益：/172億円 走行費用減少便益：/4億円 交通事故減少便益：/4億円
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する）		基準年 平成17年
関係する地方公共団体等の意見 横浜市北部方面の主要幹線道路が結ばれ、交通ネットワークが形成されることにより、交通の円滑化と利便性、安全性の向上が図られます。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 本市の主要な幹線道路として、渋滞緩和による環境負荷の軽減、交通利便性、市民の安全性の向上、地域経済の活性化のために早期の道路ネットワーク形成が望まれています。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成16年度までの事業進捗率は、用地取得率が31%となっており、引き続き用地取得等を進めます。 地区の一部約200mは切り通し（高さ12m程度の擁壁）になっており、そこを拡幅して整備する必要があります。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 一部区間で擁壁を整備する必要があり、都市計画線外を含めた用地取得に時間を要していますが、早期用地取得に向けて取り組んでおり、交差点付近から重点的に用地取得を進め順次工事着手し、平成21年度には完成する予定です。		
施設の構造や工法の変更等 事業費縮減等のため、事業認可時の縦断計画を見直し、擁壁高さの抑制、用地取得面積の縮小を検討しております。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 北部地域の放射道路を結ぶ重要な幹線道路であり、早期の事業完了を図る必要性は変わっておりません。		
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。